

「第4次臼杵市観光振興戦略」(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

No.	ご意見の要旨	市の考え方
○【将来像】(1)臼杵市が目指す観光ビジョン		
1	<p>住んでいる人が地元の文化・歴史に誇りを持ち、一度は外に出てもいつか地元に戻り、また地域に住んで新たな地域づくりに貢献することが持続可能な観光地づくりにつながると思います。</p>	<p>改めて自身が住んでいる地域にある様々な資源を見直し、誇りを持つことが持続可能な観光地づくりだけでなく、持続可能な地域の実現につながるのだと考えます。</p>
○【将来像】(2)観光ビジョンに向けた3つの基本方針		
2	<p>商店街から歩ける範囲には様々なお店がありますが、臼杵の昼ご飯に特化するようにしてはどうか。現在の昼ご飯マップは飲食店舗を広く紹介しており、観光客が自らお店を選択するスタイルをとっていることから、お店を探している間に疲れることがある。またコロナ禍にはしていたテイクアウトをもうやめていたり、材料費高騰のため値段が高くなっていたりするので、改めて、お昼ご飯のマップは作り直した方が良いと思う。</p>	<p>現在、観光客向けのランチマップについては、(一社)臼杵市観光協会が作成しています。本戦略では【4 将来像の(2)観光ビジョン達成に向けた3つの基本方針】の中で「あらゆる人にとって観光・滞在がしやすい観光地に向けたユニバーサルツーリズムの促進」と掲げておりますので、今後、ランチマップ作成の際にはご意見も参考にし、(一社)臼杵市観光協会と協議していきたいと考えます。</p>
3	<p>デジタル化の進展に伴い、企業は業務にリモートを活用。観光でもVRを活用した疑似旅行などが登場している。臼杵の特長を活かすことで、サテライトオフィスの誘致も可能ではないだろうか。そのために、観光と地域振興が一体となった取り組みが重要。臼杵市のワーケーションPRは他地域に比べて不足しているように思います。また、VR等に関して、臼杵は歴史や観光施設の面で恵まれています。これらのメリットを最大限に活かす為にも更なるIT化が不可欠と感じます。</p>	<p>デジタル技術の活用については、今後必要になることと考えます。</p> <p>ワーケーションについて、地域側のメリットとしては平日の旅行需要の創出や交流人口及び関係人口の増加等が望めるものの、高速でセキュリティの整ったWi-Fiやコワーキングスペースなど環境を整えるために費用がかかり、利用者の数によっては維持費の方が高くなってしまいう可能性がありますので、そのメリットとデメリットを見据えながら導入の可否について検討するものと考えます。</p>

○【戦略推進に向けた関係者の役割】 (1)市民の役割		
4	観光地づくりは「住んでよし、訪れてよし」の町を目指すものと言われていくというのはその通りと思います。	ご意見の通り、住む人にとっても訪れる人にとっても満足できる「臼杵市」であることが持続可能な観光地づくりであると考えます。
○【将来像に向けた4つの戦略】 ~戦略1 観光資源戦略		
5	商店街について。空家に紙雛を飾るなど見て楽しい展示をして欲しい。例えば、祇園祭りの様子や山之内流の展示・シャッターに描いても良い。また、丸食屋の跡地活用や観光客へのお土産の工夫が欲しい。	臼杵の城下町が持つ魅力(資源)の活用については、本戦略【1 観光資源戦略】の施策1-2の中で事業目的として「臼杵城跡を中心とした街並みなどの背景を掘り下げた観光資源の発掘及び活用」と掲げております。 ご提案の観光客が楽しめる商店街の展示や物産につきましては、商店街や民間事業者等と協力・連携しながら景観だけでなく物産も含めた魅力向上を図っていきたいと考えます。
6	潮干狩りが昔みたいにできれば面白いと思う。	潮干狩りについては、近年、臼杵川の河口のみならず全国的に漁獲量が減少しています。本市の水産部門や漁業関係者により構成された組織により「臼杵干潟アサリ復活プロジェクト」に取り組んでおり、今後、潮干狩りが出来るようになれば、観光資源としての活用が見込めるものと考えます。
7	旧真光寺で生け花や茶道の体験、稲葉家下屋敷の庭で剣道や柔道の体験、そのほか、臼杵焼きの体験とか着物を着て城下町散策など若い方の案は素晴らしいと思う。	様々な体験については本戦略の【1 観光資源戦略】の施策1-1「臼杵らしい」文化・自然・歴史・食コンテンツと紐づけた体験メニューや物産の開発」の中で関係事業者と連携し、誘客・リピーターの確保に努めていきたいと考えます。
8	「臼杵城」「辻の井戸」を中心に道路が放射線状にあり、お城から教会やノビシャドが見え、外国船が入る港がある、戦国時代の他地域にはないヨーロッパにあこがれた臼杵の町づくりを紹介するパンフレットがあると外国から訪れた方により臼杵の魅力を伝えられると思います。	臼杵の城下町が持つ魅力(資源)の活用については、本戦略【1 観光資源戦略】の施策1-2の中で事業目的として「臼杵城跡を中心とした街並みなどの背景を掘り下げた観光資源の発掘及び活用」と掲げております。ご提案のパンフレットの作成につきましては検討していきたいと考えます。

9	<p>【精神修養の地としての臼杵】時代の大きな流れとして、2020年以降からは「風」の時代に突入し、精神的な豊かさが大きく求められている。臼杵は仏教、道教、キリスト教、神道が交わる場所で、深い歴史と哲学思想を持っている町である。その臼杵の資源(特に座禅・瞑想、精進料理、断食、ヨガ、説法など体験を中心とした活動)を活用した観光資源の開拓が望ましい。</p>	<p>本戦略が対象とする「観光」の範囲の中には歴史や風土に培われた文化・伝統も含むものとしています。ご意見にあります臼杵の資源については施策 1-1「臼杵らしい」文化・自然・歴史・食コンテンツと紐づけた体験メニューや物産の開発」、1-2「臼杵城跡を中心とした街並み、社寺等の歴史資源、文化、産業資源等の観光資源としての活用促進」、1-3「臼杵石仏、下藤キリシタン墓地を始めとした祈りの文化資源を活かしたストーリー作りと、類似資源を有する国内外他地域との連携促進」の中で発掘・洗い出しを行い、活用に向けて取り組みを進めます。</p>
10	<p>【臼杵川周辺を市民・観光客の憩い場とする】川は町の生命線であり、大きな都市ほど、川を中心に周辺に観光的要素、文化的要素、商業的要素が集まっている。臼杵川は水量が多く、きれいで、とてもいい観光資源となり得る。臼杵川沿いに遊歩道、ちょっとした公園、出店を置くことで、八町大路や二王座に流れた観光客が買い物、食事の後、一休みできる憩いの場となり、貴重な自然観光資源となれる。</p>	<p>本市が持つ自然環境については「将来像(1)臼杵市が目指す観光ビジョン」にも「臼杵で暮らす人が観光を通じ、歴史・自然・食など臼杵の魅力を再発見することで、臼杵に対する誇りを持ち、愛着を持って暮らしている。」と掲げており、重要な観光資源であると考えます。ご意見にある臼杵川が持つ観光資源としてのポテンシャルについては施策 1-1「臼杵らしい」文化・自然・歴史・食コンテンツと紐づけた体験メニューや物産の開発」や施策 3-3「行政並びに民間による自然環境や景観の保全並びに改善・再生」において、観光資源としての洗い出し等を行う中で活用に向けて検討していきたいと考えます。</p>
11	<p>【食関連イベントの開催】UNESCO食文化創造都市としての可能性は無限で、食文化が豊かな国とのコラボで国内だけでなく、海外からの観光客誘致を図る。例えば、外国のシェフ(APUの留学生でもいい)を招いて、国際的な食フェスを行い、外国料理のレシピを臼杵の水、食材、調味料で作ることで、臼杵の食文化の価値を更に体験してもらう。</p>	<p>本戦略の中で施策 2-3「ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市として食文化資源の創造性を観光資源として活かし、誘客促進につなげる」と掲げておりますが、ご意見のとおり、未来へ本市の食文化をつなげていくためにも国内外の観光客を対象とした食文化フェスなどのイベントについて検討していきたいと考えます。</p>

<p>12</p>	<p>臼杵市への来訪者は高齢者が多い現状を踏まえ、さらなる広がりが必要です。そのためには、若者層にも訴える施設や低価格の美味しい食べ物の提供が不可欠です。新鮮な魚や美味しい野菜などは具体的なアプローチがなければ独自性が際立たない可能性があります。</p> <p>例えば、臼杵市にはほんまもん野菜があるものの、具体的な料理としてのアピールが不足しているように感じます。</p> <p>また、地域独自の料理にフォーカスを当てることも重要です。臼杵には竹宵があります。竹宵の廃竹を炭にして肥料、食材など様々な用途に利用すれば環境にも優れ、竹害－伐採－竹宵－炭－肥料・食材と竹をとことん利用する町として全国的に注目される可能性があります。臼杵市も八幡浜市の黒い商店街のように黒い食材を開発する企業を何らかの方法でバックアップ出来るのではないのでしょうか。</p> <p>その他、野津に大規模イチゴハウスによるいちご狩りも計画されていると聞いています。既にイチゴを使った大人気のスイーツ店もあります。これを期に高知県日高村のオムライス街道のようにイチゴを使ったスイーツを販売するお店を後押しすることでイチゴによる町おこしも出来るのではないのでしょうか。</p>	<p>来訪者の確保については、ご意見のとおり、本戦略の「課題1」に掲げております。また、【1観光資源戦略】にも施策 1-1「臼杵らしい」文化・自然・歴史・食コンテンツと紐づけた体験メニューや物産の開発」を掲げており、今後、事業を展開するなかで本市が持つ資源の発掘、再確認にあたり、ご意見を参考にしつつ戦略の推進に活かしていきたいと考えます。</p>
-----------	---	--

13	<p>臼杵には一般的な観光アクティビティに加え、座禅、陶芸、工場見学、酒の試飲、着物体験などのコンテンツが充実しています。更に、臼杵独自の煎餅作り、線香づくり、味噌作りなどがあり、最近では臼杵川のカヌー体験や防空壕見学も提供されています。また、カボスぶりの養殖場見学、リアス式海岸を巡るサイクリング、気軽に登れて絶景が楽しめる山などもあります。ただし、これらの魅力的なアクティビティも縦割りではらばらに行われているため、折角の資源が有効に使われていないように感じます。今後は、これらのアクティビティを統合的かつ効果的に提供する取り組みや観光全体のシームレスなコーディネートが求められます。</p>	<p>ご意見の体験コンテンツにつきましては課題 7 として多様化するツーリズムへの対応を挙げております。</p> <p>課題には直接的な書き方はしておりませんが、「アクティビティ、自然、文化体験」の 3 要素のうち、2 つ以上で構成される旅行と言われているアドベンチャーツーリズムなどへの対応も今後の課題であると考えています。</p> <p>【1 観光資源戦略】の施策 1-1「「臼杵らしい」文化・自然・歴史・食コンテンツと紐づけた体験メニューや物産の開発」や施策 1-5「造船業、醸造業、漁業、農業など関連産業と連携した持続可能な観光コンテンツの創出」の中で本市が持つアクティビティの洗い出しを含め、観光商品として販売可能かどうか観光事業者などと検討していきたいと考えています。</p>
14	<p>施策 1-2 への事業提案。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臼杵城本丸、櫓などの AR 導入による体験、彼岸花を増やし花でも誘客</li> <li>・祈りの回廊とは別に通常の街並みガイドで周れるお寺ツアーの構築</li> </ul>	<p>観光資源活用のためのAR(VR)の導入は事業計画の中で挙げております。また、各種ガイドツアーにつきましては施策 1-1「「臼杵らしい」文化・自然・歴史・食コンテンツと紐づけた体験メニューや物産の開発」におけるコンテンツの洗い出しの対象と考えます。</p>
15	<p>施策 1-4 への事業提案。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒島を活用した各種自然体験・学習、キャンプ、ビーチクリーン</li> </ul>	<p>観光マーケティングの実施によるWANTの把握とターゲットニーズに適した絞り込みを行ったうえで、消費機会の創出を行っていきたいと考えます。</p>

16	<p>施策 1-5 への事業提案。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定住に向けた本格的農業体験(短期滞在と農業実習をセットで提供)</li> <li>・低予算で長期に宿泊できるゲストハウスを充実させ、自由なお試しハウスとして会報誌、定住につなげる。</li> </ul>	<p>定住に向けた本格的農業体験の提供につきましては、移住・定住部門や農業部門と連携する必要がありますと考えます。</p> <p>移住体験滞在施設として臼杵石仏近くにおためしハウス「ほっとさんの家」を設置しており、1泊2,000円で1泊2日～6泊7日まで利用できるようにしています。ご意見の長期に宿泊できる施設につきましては、【4 観光産業活性化戦略】の施策 4-6「域内観光周遊のための市内宿泊施設の活性化支援及び体験を絡めた宿泊ツアー開発、並びに宿泊事業への参画促進」の中で検討していきたいと考えています。</p>
○【将来像に向けた 4 つの戦略】～戦略2 情報発信・誘客戦略		
17	<p>インバウンド観光客の増加を期待します。</p>	<p>海外からの観光客の誘致(インバウンド)については、本戦略の【2 情報発信・誘客促進戦略】の施策 2-4「国内外でターゲットとする地域を明確にし、ターゲットとするお客様層、旅行形態を想定した効果的な誘客促進の実施」において、海外観光客のニーズに沿ったブランディングを行い、効果的な誘客促進を進めます。</p>

18	<p>【ウェルビーイングの町(仮称)臼杵】 大分県は「日本一のおんせん県」をキャッチフレーズにして、観光プロモーションをかけているが、臼杵には温泉がない。ただ、臼杵にはそれに負けないものがある。ウェルビーイングのトータルサポートである。ウェルビーイングとは肉体的に、精神的に、社会的に満たされている状態で、臼杵の自然と食(肉体的)、歴史と文化、宗教(精神的)、臼杵観光人・外国人人口(社会的)はこれらを満たすための要素となりえる。ウェルビーイングはただ一つのアイディアに過ぎないが、臼杵らしきキャッチフレーズを作ってプロモーションしても良いと思う。</p>	<p>「臼杵市がどういったところなのか。」という本質を端的に表すキャッチフレーズは観光客に対し、臼杵の観光やコンテンツを魅力的に PR するための重要なプロモーション媒体です。頂きましたご意見を参考にし、今後の戦略に活かしたいと考えます。</p>
19	<p>施策 2-4 への事業提案。 ・インバウンド関連でオランダ人の誘客促進が低予算でもっとも効果的だと思います。</p>	<p>インバウンド関連につきましては、【2 情報発信・誘客促進戦略】の中でマーケティングの実施と WANT の把握(例えば、臼杵石仏で調査している国別外国人客数や大分県・ツーリズムおおいたが持つ統計調査など)を行い、効果的な誘客促進をしていきます。</p>
20	<p>施策 2-2 への事業提案。 ・訪れたくなるような記憶に残り感動を呼ぶ短編映画の制作。</p>	<p>プロモーション方法につきましては、映画製作や映画等のロケ地候補も誘客PR方法と捉え、施策 2-4「国内外でターゲットとする地域を明確にし、ターゲットとするお客様層、旅行形態を想定した効果的な誘客促進の実施」の中で検討していきたいと考えます。</p>
21	<p>施策 2-7 への事業提案。 ・別府市、由布市に臼杵のパンフレットコーナーを設けさせてもらう。 ・津久見の河津桜とうすきひな祭りのコラボレーションやうすき桜祭りとイルカ島のコラボレーション。 ・黒島の佐志生断層、下ノ江の地層や津久見の網代島の地層を巡るツアーなどのコラボレーション企画。</p>	<p>パンフレットコーナーや他市との各種コラボレーション企画につきましては、他市・他地域と検討しながら進めていくものと考えます。頂きましたご意見も参考にし、今後の戦略に活かしていきたいと考えます。</p>

22	<p>大阪・関西万博から臼杵への来訪取組み、情報発信を行う。</p>	<p>大阪・関西万博からの誘客及び情報発信については、本戦略の【2 情報発信・誘客促進戦略】の施策 2-5「国内外の大規模イベント等を活用した臼杵市の魅力発信」において、その誘客・情報発信方法について検討し、実施に向け進めることとしています。</p>
23	<p>臼杵市には多岐にわたる観光スポットや特産品があるにもかかわらず、「臼杵は素敵な場所」という印象が観光客に浸透していないようです。認知度を向上させるためには、SNS の積極的な活用、市外への効果的なパンフレットの配布、マスコミへの積極的な取材依頼活動等が不可欠です。情報を定期的に更新し、興味を引き続ける工夫が不可欠です。また、動画配信も効果的な手段の一つです。新しいアプローチの模索や、既存の動画配信者の設備を借りるなどしてユニークな番組を発信すれば認知度向上とブランディングの強化に寄与すると思います。</p> <p>昔、野津に「キリシタン資料館」がありました。そこに展示されていた資料を一か所に集めて常設、もしくは資料館等で展示することは考えられないでしょうか。</p>	<p>本戦略の【2 情報発信・誘客促進戦略】にも掲げていますが、ニーズに沿った臼杵市の観光地ブランディングを推進し、ターゲットを絞った情報発信を行い、より効果的な情報発信を考えています。また、【4 観光産業活性化戦略】の施策 4-3「SNS等を活用した、市民による地域魅力発信の強化」に記載していますが、SNSの活用については行政・関連組織だけでなく市民も巻き込んだ発信方法も検討していきたいと考えます。</p> <p>キリシタン資料館の資料につきましては、確認中であり、現時点では展示等についてはお答えできる状況にありません。ご了承ください。</p>
<p>○【将来像に向けた 4 つの戦略】～戦略3 受入環境整備戦略</p>		
24	<p>施策 3-2 への事業提案。</p> <p>アズレージョの壁画に各々の説明がない。各壁画に QR コードを設けるだけでもおもてなしの向上になります。</p>	<p>久家の大蔵のアズレージョタイル(壁画)については、案内板に説明用のQRコードを記載していましたが、ご意見にあるように、案内板の表示が分かりづらいとの声を頂きました。よって現在、タイルの近くの見えやすい位置にQRコード付の案内板設置を本年 3 月中に行います。</p>



25	<p>施策 3-6 への事業提案。</p> <p>・行政職員向けセミナーの実施。</p> <p>理由:市民に地域の魅力を発信して頂くことも大切ですが、同時に行政の職員も率先して発信することが重要だと考えます。</p>	<p>行政の職員も地域の魅力を伝えていく市民の一人であることから、(株)まちづくり臼杵が実施するうすき街色事業人材育成「まちづくり講座」や臼杵の地方創生をテーマとした「市民講座」へ積極的に参加するようにしています。今後、SNS セミナー等のセミナーについても検討していきたいと考えます。</p>
26	<p>障がいのある方が利用できるトイレが豊屋町市営駐車場のあたりから先にないため、設置について検討して欲しい。</p>	<p>多目的トイレにつきましては、ご意見いただきました市営豊屋町駐車場の付近で申し上げますと、久家の大蔵にも設置されており、本戦略の【3 受入環境整備戦略】の施策 3-2「案内サインや情報ツールの多言語対応、観光事業者、市民全体の宗教を含む他国の文化慣習への対応力強化、ユニバーサルツーリズムの促進」の中で多目的トイレ等の情報発信強化を図りたいと考えます。</p>
27	<p>有事の際、観光客を誘導する意識を町の人に持ってほしい。特に外国の方が被害にあったときに行政の責任が問われることはないでしょうか。</p>	<p>災害時における観光客への対応については【3 受入環境整備戦略】の施策 3-5「災害時の観光客に対する避難誘導サイン及びハザードマップの作成及び周知」において、避難ルートの策定及び避難指示体制の構築を図りたいと考えます。</p>
28	<p>【臼杵内のシェアリングビジネスの構築】について。臼杵には宿が少ないと良く聞かすが、ゲストハウスを覗くと、あまりお客さんの姿は見かけない。しかし竹宵などのイベント時には宿が足りない。宿泊施設を新たに建てると閑散期の収益化が難しい。一方で一般市民の家は子供の巣立ちなどで空いている部屋が多い(空き家は修繕が必要なので、直ちに利用することは難しい)。一般市民の部屋を民泊可能な場所として登録し開拓する。もちろん民泊化するための市のサポートは必要(金銭的補助、仕組み化、セミナー開</p>	<p>ご意見のとおり、宿泊施設を新たに設けることはコストの関係からも直ちに出来ることではないと考えます。そのうえで、本戦略でも「本市を取り巻く環境」の中で空き店舗・空家の増加については懸念事項と考えます。持続可能な観光を実現するうえで重要なことであると考えておりますので、頂きましたご意見は参考にし、今後の戦略に活かしたいと考えます。</p>

	<p>催)だが、これまたいい観光資源となりえる(古民家での滞在、郷土料理の堪能、地元市民との交流)。</p> <p>同じく繁忙期に一般市民の空き駐車場も観光客向けに開放できるようにシェアリングする。</p>	
<p>○【将来像に向けた4つの戦略】～戦略4 観光産業活性化戦略</p>		
29	<p>施策4-2への事業提案。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般のインバウンド向けに低予算で出来ることもある。人気のある農泊に力を入れてはどうか。</li> <li>特に竹宵、祇園様、夜市のある季節などは最高のツアーになると思います。</li> <li>・日中のツアーだけでなくスナックが多い臼杵としては、外国人に人気のスナックへの誘客も効果があると思います。</li> <li>・宿泊施設の各部屋への観光パンフレットの設置。</li> </ul>	<p>宿泊施設の各部屋にパンフレット置き、それを見ることにより、観光客等が臼杵を楽しむといったことは「ホスピタリティスキルの向上」の一つととらえ、施策3-6「観光事業者をはじめ、市民全体のホスピタリティスキルや情報伝達力の育成を通じた、地域の魅力伝達力の向上」や施策4-6「域内観光周遊のための市内宿泊施設の活性化支援及び体験を絡めた宿泊ツアー開発、並びに宿泊事業への参画促進」の中で検討していきたいと考えます。</p>
30	<p>施策4-3への事業提案。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インスタフォトや動画コンテストの実施</li> </ul> <p>理由:コンテストを行った場合、応募者は入選・非入選にかかわらずインスタ等に常時アップされていますので、相当な発信効果があります。同じように、動画のコンテストなども行えれば、インスタより遥かに発信力のあるものになる可能性があります。</p>	<p>これまで実施したインスタフォトコンテストなどの企画を踏まえ、施策4-3の事業内容と目的に挙げております「イベント実施時や飲食店・宿泊施設口コミサイトなどへの住民・観光客による口コミ掲載キャンペーン実施」について検討して行きたいと考えています。</p>

31	<p>施策 4-4 への事業提案。</p> <p>視察や短期的な取り組みだけでなく、半年や一年といった長期間に渡り臼杵中を詳細に調査し、地域振興活動に真摯に取り組んでくれる学生や学校との連携が不可欠です。長期間の活動を通じて、学生達は地域の特性や課題を深く理解し、独自かつ具体的なアイデアを生み出すことが期待されます。</p>	<p>本市がユネスコ創造都市ネットワークに加盟したことをきっかけに臼杵高等学校には「ユネスコ部」が設置されたり、本年 2 月には食文化について APU のサステナビリティ観光学部の学生がおよそ 1 年かけて研究し、その成果を発表するなどしております。今後も、学生や学校と連携していきたいと考えます。</p>
32	<p>地元の人々との交流について</p> <p>地元の人々との交流は、観光体験をより深化させます。地元の人とのコミュニケーションを大切に、彼らの視点や生活に触れることで、より充実した観光を目指すことの必要性を感じます。</p> <p>例：祇園祭の体験、茶摘み、地引網、地域の御神楽等の体験など</p> <p>また、観光客の記憶に残るのは景色や食事だけでなくガイドの案内によるものも大きいです。臼杵のガイドに関する積極的な PR が必要と思います。</p>	<p>本戦略が対象とする「観光」の範囲の中には地元の人々との交流等を含むものとしております。ご意見のとおり、観光体験として地域の人とのコミュニケーションや生活に触れることはこれからの「観光」には必要なことだと考えます。ガイドの育成につきましては必要なことと捉えており、施策 4-1 で推進していくことと考えます。</p>
33	<p>【後継者育成】</p> <p>臼杵における観光産業の後継者育成は急務だと認識している。特に観光スポットとなっている中央通り商店街等の後継者育成。インターンシップや事業承継のための弟子入りなどのマッチングに積極的に取り組む必要がある。</p>	<p>事業承継については、本市産業部門や臼杵市商店街連合会や大分県事業承継・引継ぎ支援センター等と連携して進めています。</p>
34	<p>リピーターの増加には、まず初めに来訪者の意見を知ることが重要と思う。来訪者へのアンケートを通じて、訪れた際に感じた良い点や不足している点などを具体的に把握し、次回の訪問に期待する要素を明確に把握することが必要だと思います。</p>	<p>アンケートにつきましては令和 4 年度から臼杵市観光動態調査を実施しており、本市を訪れる理由、満足度などを調査しており、お客様が何を求めているのか今後毎年確認できるようにしています。</p> <p>また、ガイドシステムについては【4 観光産業戦略】の施策 4-1「多様な人材が、様々な就労</p>

	<p>また、観光客にとって地域の人との出会いも重要です。観光客の記憶に残るのは歴史、施設、景観の他、人とのコミュニケーションだと思う。気軽に申し込む事ができるガイドシステムの構築が必要と思います。</p>	<p>形態で観光産業に寄与できる働き方の推進」の中で検討していきたいと考えます。</p>
35	<p>宿泊に関しては別府市等の他地域に任せてもよいと思うが、お寺めぐり(城を中心にした寺の役割紹介)や寺泊を実施してみてもどうか。</p>	<p>ご提案のお寺巡り・寺泊については本戦略の【4 観光産業活性化戦略】の施策4-6「域内周遊のための市内宿泊施設の活性化及び体験を含めた宿泊ツアー開発、並びに宿泊事業への参画促進」の中で研究していきたいと考えます。</p>
<p>【将来像に向けた4つの戦略】～戦略1 観光資源戦略 ～戦略2 情報発信・誘客促進戦略</p>		
36	<p>古い町並みは全国あると思いますが、城とキリスト教とのつながりがある町は少ないはずです。</p> <p>町全体を見て欲しいと考えるより、特化したメニュー揃えの方が良いかもしれません。国宝臼杵石仏は観光客が多く外せませんが、そこから町に流れる交通網が必要です。思い切って龍源寺あたりに下車してもらい町を歩かせるようにしてはどうか。また、竹細工のお箸や裏奴凧もサーラ・デ・うすきのお土産に加えることはできないでしょうか。</p>	<p>本戦略の「1 観光資源戦略」において、本市ならではの観光資源の創出や既存資源の魅力向上を図りつつ「2 情報発信・誘客促進戦略」において、様々な資源の中で例えば、本市の城下町(歴史を含めた)を魅力に感じるのほどのターゲットか、そしてそのターゲットに対してどう発信すれば効果的であるのかを図っていきたく考えます。</p> <p>サーラ・デ・うすきでのお土産の件につきましては、現在、サーラ・デ・うすきは(株)まちづくり臼杵が運営しており、お土産は「うすきの地もの」に登録された商品を販売することとしています。</p>
37	<p>近隣市や同じテーマ性を持った市町村と連携した日帰り需要の獲得と、食事の機会の増加による滞在時間の延長について。</p> <p>具体的には、臼杵城をARで観光客に見せることで滞在時間も増え、マスクミヤ若年層からの注目を集めること</p>	<p>VR、ARなどのデジタル技術の活用については、「1 観光資源戦略」の施策1-2「臼杵城跡を中心とした町並み、社寺等の歴史資源、文化、産業資源等の観光資源としての活用促進」の中でも一部記載しておりますが、今後、デジタル技術の活用は必要であると考えています。</p>

	<p>が期待できます。そのほか、現在本丸にある彼岸花を増殖させ一面を埋めれば、相乗効果で秋に大勢の観光客を誘致できる可能性があります。</p>	<p>ご意見にある彼岸花に限らず、お花を含む自然風景については、「1 観光資源戦略」の施策 1-1「『臼杵らしい』文化・自然・歴史・食コンテンツと紐づけた体験メニューや物産の開発」の中の「自然」の中で検討していきたいと考えています。</p>
38	<p>多様化するツーリズムへの対応 近年、オランダからの来訪者に対する黒島へのツアー企画が増加しています。この機会を活かし、街中での滞在を増加させるためには魅力的な体験やイベントの時期に合わせた PR が必要です。観光バスの誘致や観光タクシープランには補助金がありますが、オランダのツアーにも一定の補助金を提供できれば、滞在時間が増加し、あわせて観光消費も増加するでしょう。尚、今後の誘致活動においては、市や観光協会の対応が必要と考えます。</p>	<p>ご意見の多様化するツーリズムへの対応につきましては【1 観光資源戦略】の冒頭にも「多様化する旅行者のニーズを踏まえつつ、臼杵市ならではの観光資源の創出・魅力向上を図り、誘客・リピーターを拡大するとともに観光消費額の増加を図る。」と記載しているとおり、黒島を含めた「臼杵らしい」コンテンツで検討することと考えます。特定のツアーへの補助などにつきましては、【2 情報発信・誘客促進戦略】の中でマーケティングの実施と WANT の把握(例えば、臼杵石仏で調査している国別外国人客数や大分県・ツーリズムおおいたが持つ統計調査など)、その結果に基づいた戦略的プロモーションの中で効果的な誘客促進施策を検討していきたいと考えます。</p>
<b>【将来像に向けた 4 つの戦略】～戦略 2 情報発信・誘客戦略 ～戦略 4 観光産業戦略</b>		
39	<p>施策 2-6 への事業提案。 ・臼杵チャンネル設備を借りて短時間でも YouTube での動画配信や FB などの Live 放送を行う。</p>	<p>頂きましたご意見につきましては、単に観光情報発信体制の強化だけではなく、施策 4-2「まちづくり活動と観光振興活動との連携強化」の中で検討していきたいと捉えています。</p>